

ユーザ内線番号の再割り当て時に発信者ID名を変更する手順を特定する

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[手順](#)

はじめに

このドキュメントでは、別の所有者またはユーザに再割り当てされるユーザ内線番号の発信者ID名を変更する手順について説明します。

前提条件

要件

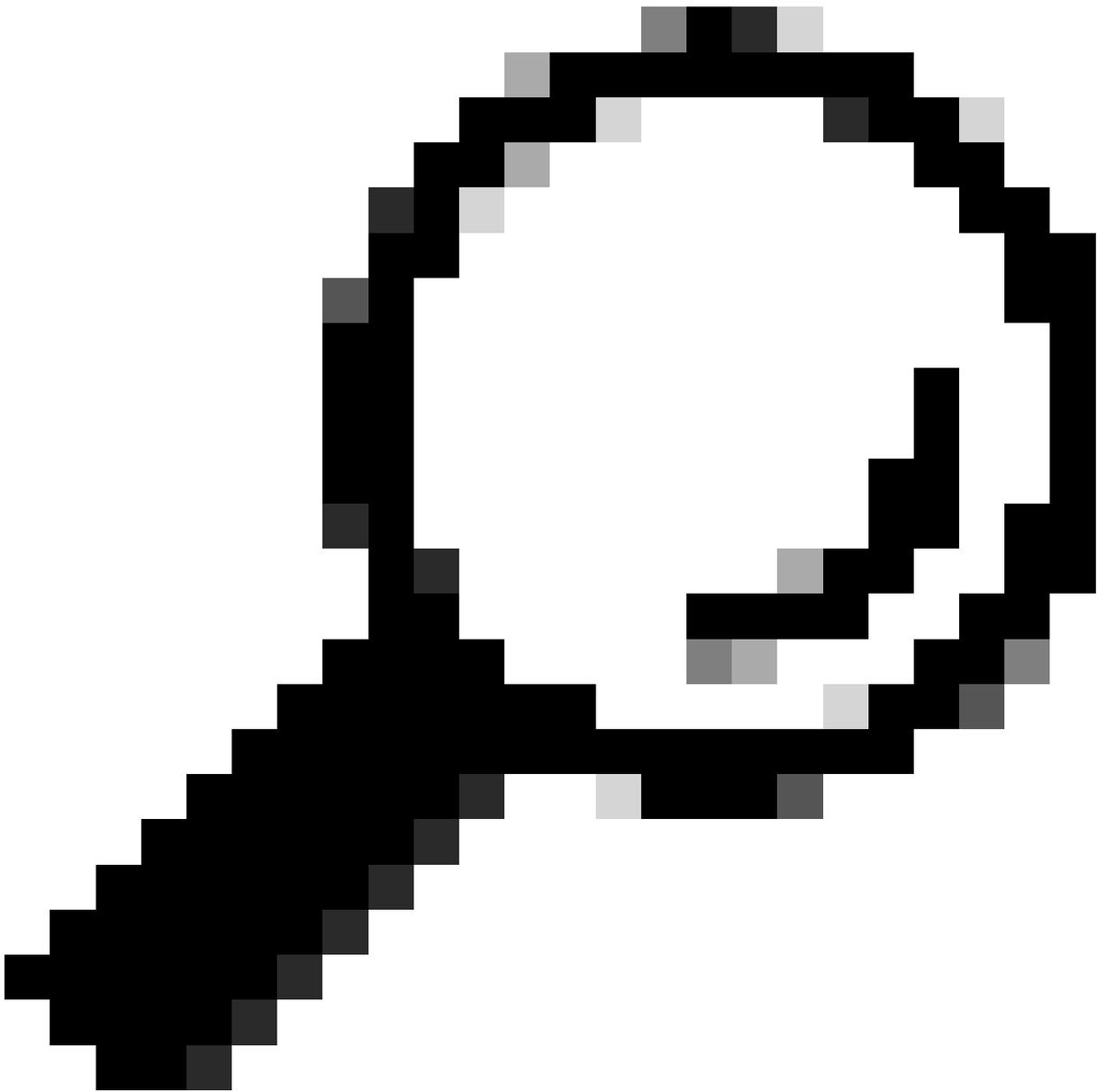
次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Webex Calling
- コントロールハブ
- 新規ユーザの作成

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明



ヒント：競合を避けるためにWebex通話ユーザ/アカウントを再利用しないことをお勧めします。また、ベストプラクティスとして、使用していないユーザを削除して新しいユーザを作成してください。

管理者は、以前の所有者が退職した場合やライセンスが不足している場合に、組織内の使用されていないユーザを再割り当てするのが一般的です。

通常、管理者は再割り当てするユーザのID情報を変更します。



NY Testing

● Active

Member of New York

Summary **Profile** General Meetings Calling Messaging Hybrid Services Devices Vidcast

Identity

First name

NY

Last name

Testing

Display name

NY Testing

Primary email *

Alternative emails ⓘ

⊕ Add email

Title

Enter a title

Department

Enter a department

ユーザIDの設定以前の所有者の設定。



Jane Doe

● Active

Member of New York

Summary **Profile** General Meetings Calling Messaging Hybrid Services Devices Vidcast

Identity

First name

Jane

Last name

Doe

Display name

Jane Doe

Primary email *

Alternative emails ⓘ

⊕ Add email

Title

Enter a title

Department

Enter a department

ユーザIDの設定新しい所有者の設定。

ただし、新しい所有者がコールを実行すると、発信者ID名はコールを受信するユーザの画面に以前の所有者名を表示します（この場合はNY Testing）。

手順

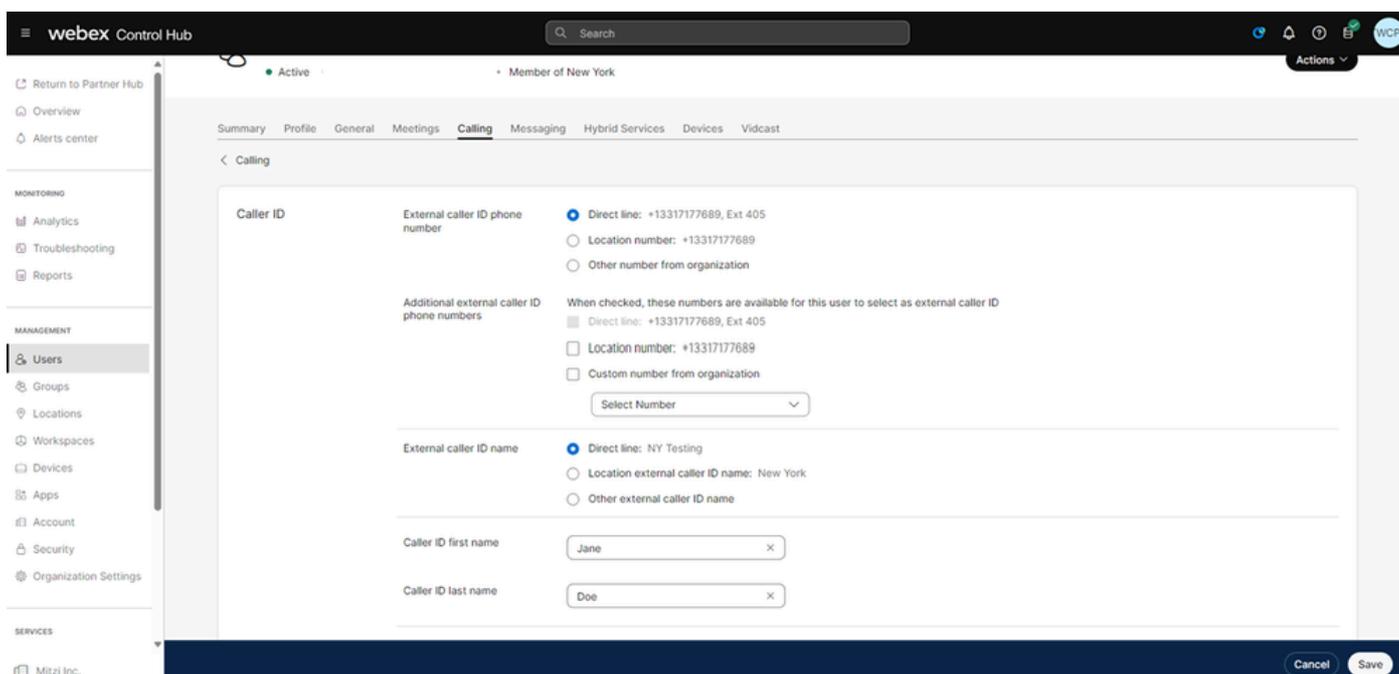
Control Hubで設定されたID情報は、ユーザー設定にのみ対応し、発信側の設定には対応しないことを覚えておくことが重要です。

発信者ID名は、SIP INVITEのFromヘッダーに含まれるSIP設定で、宛先パーティが発信者名を識別するために使用されます。

したがって、宛先番号に現在のオーナーの発信者ID名が表示されるようにするには、発信者IDの名と発信者IDの姓のフィールドを次の手順で更新する必要があります。

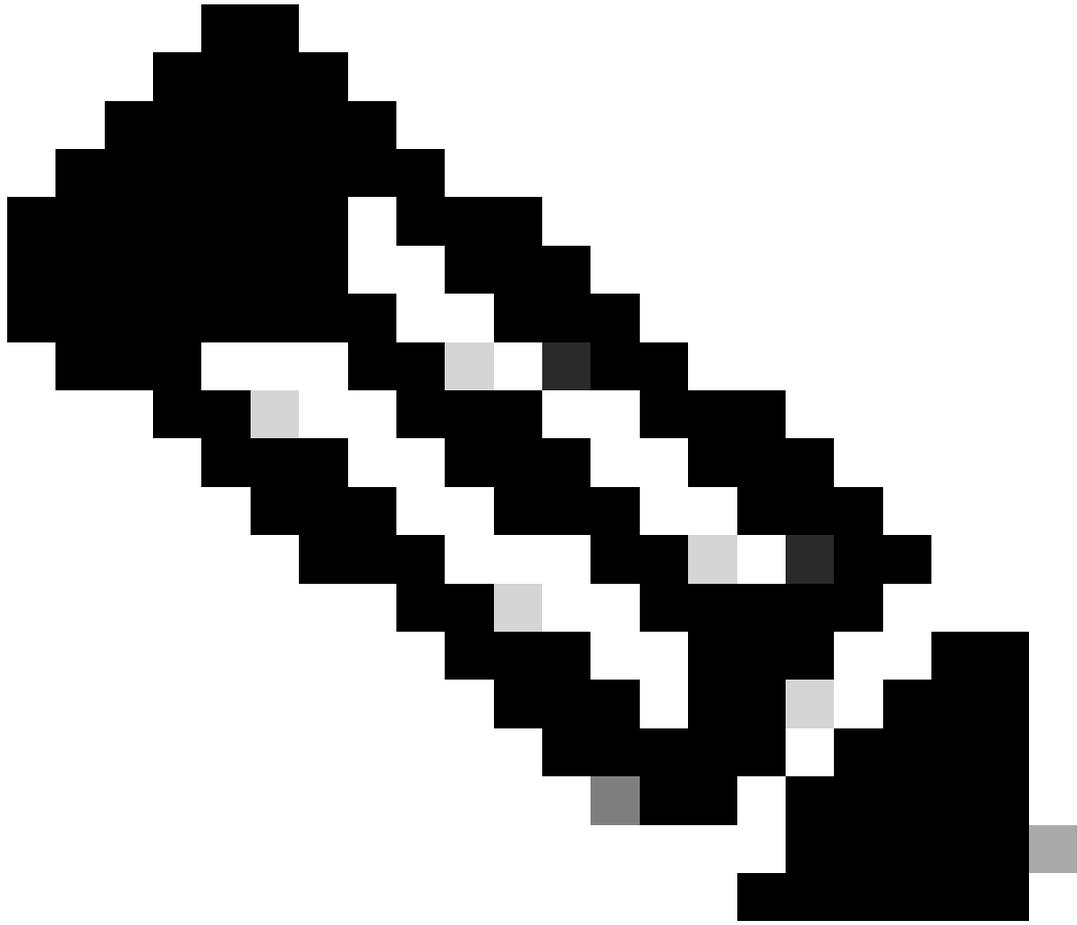
ステップ 1：User > Calling > Numbers > Caller IDの順に移動し、Caller ID first nameとCaller ID last nameを適宜変更します。

ステップ 2：[Save] をクリックします。



Calling ID configurationセクションで確認できます。

これで、マルチプラットフォーム電話またはWebexアプリで発信元ユーザの正しい発信者ID名を宛先に表示できるようになりました。



注：この手順は、受信したほとんどのケースに適用されます。問題が解決しない場合は、TACに連絡してサービスリクエストをオープンし、さらなる分析を依頼してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。